



# 楽農美人の使い方



## ～果菜類～

期待できる効果

◆発根促進

◆センチュウ対策

◆連作障害対策

◆活着不良対策

土づくり

定植

かん水・葉面散布

収穫

混ぜ込み

どぶづけ

～推奨使用量 20～40ℓ/反・作～

使用量は栽培期間・方法によって異なります

土づくり

10ℓ/反の原液を50～100ℓの水に混ぜ、定植前までに散布



土壌中の微生物をコントロールし、微生物が豊かな土壌にします。

定植

1000倍希釈でどぶづけ ※発根促進剤や殺菌剤との混用可能



発根を促し圃場への活着を良好にします。

かん水

1週間に1回、500ml/反を1000倍希釈以上でかん水



ネハリを促進し、樹勢が良好になります。

葉面散布

薬剤散布時に、1000倍希釈で葉面散布(毎回) ※農薬との混用可能



成長を促しながら糸状菌に対する抵抗性の向上が期待できます。

注意

栄養成長がさかんになりすぎた(樹ボケ、樹が暴れるなど)場合は濃度を薄くしてください。

お問い合わせ先

京葉ガスエナジーソリューション株式会社

KeiYo GAS グループ

〒272-0015 千葉県市川市鬼高4-3-5

TEL:047-314-1554 FAX:043-307-9596

# 育苗で使用する場合

## 播種

500倍希釈した液に、タネを含浸させる  
※含浸条件はタネによって異なります。事前に販売店にご確認ください。

発芽率を向上させ、良品率が向上します。

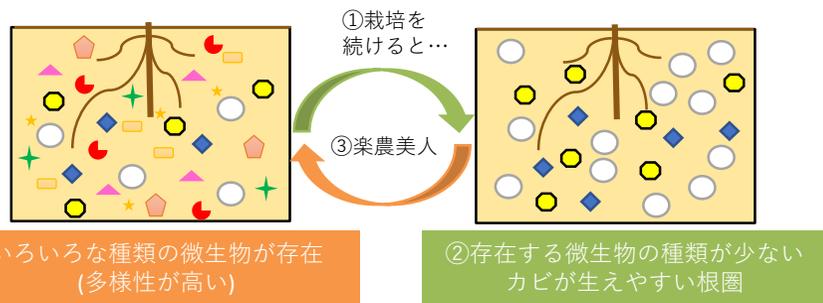
## 育苗

1000倍希釈でかん水(毎回)  
※ネハリが良すぎる時は様子を見ながら施用量を調整してください。

ネハリが良く、徒長の少ない苗になります。

## 楽農美人の作用

### 【微生物が豊かな土壌】



### 【センチュウ害対策】

ネコブの数を抑制し、発根を促進させることで、地上部への障害を軽減させることが期待できます。 ※殺センチュウ剤ではありません。

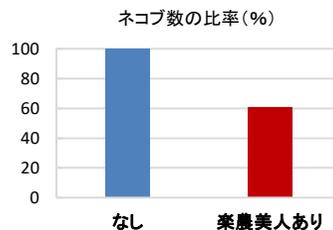


図1 楽農美人がネコブ形成に与える影響

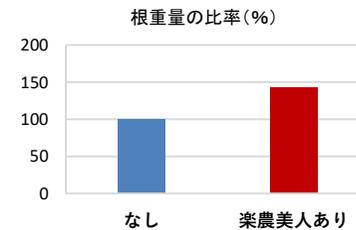
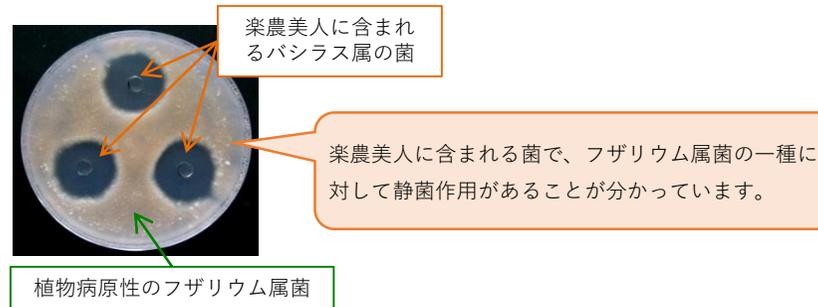


図2 楽農美人が発根形成に与える影響

### 【静菌作用のある菌】



①栽培を続けると、化学肥料などが継続して投入されるため、特定の微生物しか存在しない土壌に変化します。

②存在する微生物の種類が少ないと、カビ等の病害が広がりやすい土壌になります。

③楽農美人を散布することで、少なくなっていた微生物が増え、元の土壌に回復していきます。